

# 利根新報

発行  
利根新報編集部  
編集発行者 崎山 勝功  
〒270-1326 千葉県印西市木下1661-18(2F)  
電話・FAX 0476-77-3846  
利根新報 WEB版  
http://toneshinpo.com

患者さんの立場に  
立った、安全で  
良質な医療の実践と  
人間性豊かな  
良き医療人の育成

日本医科大学  
NIPPON MEDICAL SCHOOL  
千葉北総病院  
CHIBAHOKUSOH HOSPITAL

〒270-1694  
千葉県印西市鎌苅1715  
代表 0476-99-1111  
www.nms.ac.jp/hokuso-h/

## eスポGOMI in 印西開催

### 過去最大の29チームが！

#### 参加しごみ拾い

ごみ拾い活動にスポーツ要素を加えた「eスポGOMI」と電子機器を用いた競技「eスポーツ」を組み合わせた「eスポGOMI in 印西」が11月23日、印西市原のBIGHOPガーデン印西で開かれた。

同イベントには29チーム・計86人が参加。eスポGOMI開催委員会によると、全国各地でこれまで実施した中で過去最大の参加者数という。



ごみ拾いをする参加者たちを見守る、中澤俊介市議(左)

参加者は3人1組のチームを組み、BIGHOPガーデン印西周辺の約1キロ四方のエリア内で、前半と後半合わせて約1時間程ごみ拾いをした。

このうち、印西牧の原駅前周辺や近隣の商業施設周辺では、タバコの吸い殻が路上に捨てられていたほか、歩道の植え込みに隠す形でタバコの吸い殻や空き缶などが捨てられていた。

親子で参加した市内の主婦(39)は「意外とタバコの吸い殻が多かった。植木や植込みの所に吸い殻があった。駅前にごみが多かった」という。一緒に参加した小学6年生の息子(12)は「駐車場脇に1院のペットボトルが捨ててあった」と明かした。

印西市では市内全域を対象にした「印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例」が施行されているが、参加した市内の小学3年生女子(9)は「ペットボトルを拾ったほか、ごみをたくさん拾った」と話すほど、ごみのポイ捨てが市内でまん延しているのが現状だ。

集められたごみは総計38・11キログラム、燃えるごみ12・18キログラム、燃えないごみ1612・18キログラムの他に、タバコの吸い殻だけで1・38キログラムも回収されたという。

ごみ拾いの合間に開かれたゲーム大会では、コンピュータゲーム「ぷよぷよeスポーツ」を



対戦形式で取り組む参加者たち



「海ごみゼロ」の啓発イベントの様子

よぷよeスポーツ」を対戦形式で行った。ゲーム大会の会場内では、参加者たちが年齢に関係なくゲームに取り組み、高得点が出る場面から歓声が上がっていた。

eスポGOMI開催委員会の高木光治さんは「ゲームを通す中で、参加者の皆さんがコミュニケーションを取って他のチームと会話したりと、参加者同士でのつながりができるきっかけになった」と、ゲームとごみ拾い活動をかけ合わせる効能を説いた。

その上で高木さんは「今後も継続的にやっていく価値があるかな」と、今後も続ける意向を示した。

## ヒ素検出 報道受け

## 井戸水検査が急増

印西市山田地区の井戸水から、水質基準値を超えるヒ素が検出されたという本紙報道を受け、印西市内の水道未給水世帯から井戸水検査の申し込みが急増している。本来ならば市民に安全な水道水を供給するのが印西市の役目だが、一向に進まない印西市の水道整備事業に対し「今さら市長に言ってもしょうがない」と、板倉正直市長へのあきらめの声が市民の間から上がっている。

印西市環境保全課によると、11月6日に市が窓口となつて井戸水水質検査を受け付けたところ、市内各地区から計8件の検査依頼申し込みがあったという。

水質検査を申し込んだ住民の1人は「利根新報の記事を見て、1回調べてみようと思った」という。同課によると、今まで自宅井戸の水質検査をした事が無かつた世帯とみられるという。家庭での飲用に使う井戸水は水質検査の義務はないが、厚生労働省の「飲用井戸等衛生対策要領」によると、

今年8月頃に印西市山田地区の住民の井戸水から、水質基準値を超えるヒ素が1院当たり0・015ミリグラムが検出された。ヒ素は毒性が強く、水質基準値で「1院当たり0・01ミリグラム以下」とされる。市ではヒ素を除去する特殊な浄水器の取り付けへの補助金を出しているが、一時しのぎの対処療法でしかない。

### 「今さら市長に言ってもしょうがない」板倉市長にあきらめの声も

印西市松崎地区の60代女性は「近くの松崎工業団地までは水道は来ているけど、『工業用だから一般の水道とは違う』と言われた」という。これまで千葉県水道局広報紙「県水だより」にも投書した事があるが、現在も井戸水を使わざるを得ない状況に変化はない。

女性が以前住んでいた長柄町は、早い時期から水道整備が進んでおり「子どもの頃から水道水を飲んでいて」という。約40年前に旧印西町(現在の印西市)に来てからは「生水は飲んだ事は無い。必ず沸かしてから飲んでいる」と話している。

女性は「今さら市長に言ってもしょうがない。もう40年も経っている」と話した上で、「印西市が何かしてくれるか期待していない。生きていくうちに水道が来ないだろう」と、諦めの境地を明かした。

千葉県営水道船橋水道事務所千葉ニュータウン支所は取材に対し「印西市から依頼の話はいただいている」と述べた上で、県営水道の給水区域が決まらている事などを挙げて「井戸水に不安があるのは分かるけど、『(県営水道が)給水できるかも』とは今の段階では言えない」という。

印西市が今後どのような方針で水道問題に臨むのか成り行きが注目される。「利根新報WEB版で読者の声を紹介します」

印西・船尾の群像 今日皆様方のご利用お待ちしております。

## ブルーラインジャパン タクシー

従業員急募

◆タクシー乗務員  
正社員および定時制(定年退職の方歓迎)

シニア&男女 歓迎  
(全車ジャパンタクシー)  
日勤(昼夜)、隔日有り

船尾タクシー有限会社 印西市船尾805-1  
https://www.funaotaxi.com/ ☎0476(46)0239

忘年会 受付中!

## お食事処 友和亭

私達は皆さんの喜ぶ顔が大好きです。

印西市大森3229の1 営業時間 月曜日定休  
午前11時～午後3時(ラストオーダー午後2時30分)、  
午後5時～午後9時30分(ラストオーダー午後8時45分)

☎0476(40)2571